



第4回 助産実践能力向上研修



令和2年1月18日（土）山口県看護研修会館において、第4回助産実践能力向上研修が開催されました。

今回は、西南女学院大学 助産別科の田中満由美先生に「臨床推論」について講義をして頂きました。助産師、看護師合わせて15名の参加がありました。



臨床推論の基本的概念をはじめ、助産における臨床素論の意義・臨床推論に用いる基本的診断技術、症候診断のプロセスについて丁寧に教えていただきました。普段、仕事の中で日常的にアセスメントしていることこそが、臨床推論であり、適切にアセスメントしていくことが、正常からの逸脱の有無などの判断に必要であることを改めて学ぶことが出来ました。

講義の中で、先生の臨床経験での事例をたくさん交えてくださり、実際の現場での臨床推論の大切さを実感しました。研修後の受講生の感想の中にも、「事例を聞くことでイメージしやすかった」「事例を聞いて臨床で活かしていけると感じた」などの意見が多く聞かれました。



また、先生の「患者のそばに常にいるのは医師ではなく、私達助産師。医師に自信を持って報告をしましょう。」との言葉を頂き、自分たちの担う責任の大きさを実感したとともに、自分たちにしか気づけない異常に気づける能力と感性を向上させていきたいと感じました。臨床推論は助産師職能委員会では初めての研修テーマでしたが、非常に実りのある研修となりました。

次回研修：2月8日（土）「超音波画像診断装置の基本操作と手順」
☆来年度も様々な研修を企画しています。みなさんのご参加をお待ちしています☆